岡崎龍斗先輩

山田安衣香

私は正直、「岡崎龍斗」という人物をよく知らない。

話をしたことも少なく、部活も委員会も違うので、あまり交流がなかった。

なぜ、私が龍斗先輩にインタビューをしたいと思ったのか。

理由となる出来事は2つある。

1つ目の出来事は昨年度行われた支部の陸上大会の練習のときだ。

2年生、という立場は先輩と後輩の両方に気を使わなければならない、難しい学年だと思う。

そんな中、私が龍斗先輩に抱いたイメージ、それは、「先輩、後輩への一線は越えない人。」

先輩への礼儀を忘れず、後輩との付き合いにも一線をおく。そんな人との付き合いをしているなと思った。人と接するときに気が使える、大人びている人だなと思った。

2つ目の出来事は、先輩が2年生の冬休みのことだった。

龍斗先輩は男子バスケットボール部に所属している。冬休みの練習後、友達との会話で「俺、3年前期会長やる。」という一言がふと耳に入ってきた。

「え？先に言っちゃう！？」とそのとき私は驚いた。

そして3年生。前期会長として、みんなを統率していた。

そのとき、私は純粋にかっこいいなと思った。

有限実行したこと。そして、最後まで意志をつらぬいたこと。この2つは、簡単なようで難しいことだと思う。会長という仕事は、私も経験したが、本当に大変な仕事だ。

意思をしっかりと持ったひとにしかできないことだと思う。

そんな先輩は素敵だと思った。